

↑ 支援室記入欄

応募・交付申請チェックリスト

申請者	氏名又は法人名	工事発注者	(担当者)	連絡先	TEL
事務連絡先	氏名又は法人名	事務連絡名	(担当者)	連絡先	TEL

↑ 日中に連絡が取りやすい電話番号

提出書類のチェック

送付する書類に必ず☑チェックして下さい。

提出する必要書類にチェック
 提出の必要がない不要書類に斜線

番号	種別	交付様式番号 添付書類	書類名称	申請者	支援室
1	必須	交付チェックリスト	応募・交付申請チェックリスト		
2	必須	1-1, 1-2	応募・交付申請書		
3	必須	添付①	建物の実在確認ができる書類		
4	必須	添付②	申請者の本人（法人は実在）確認ができる書類		
5	該当者	添付③	事務連絡先の本人（法人は実在）確認ができる書類		
6	該当者	添付④	建物所有者の本人（法人は実在）確認ができる書類		
7	該当者	添付⑤	サブリースに係る確認書		
8	該当者	1-3	住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業に関する同意書		
9	必須	2	住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業に関する確認書		
10	必須	3-1, 3-2	対象建物概要書		
11	必須	添付⑥	建物の新築着工年月日が確認できる書類		
12	必須	3-3～3-5	対象住戸概要書		
13	必須	4-1, 4-2	工事計画書 対象の住戸ごとに作成 4-1は(1)と(2)を作成		
14	対象工事	4-3(1)、(2)	改修工事の内容：空家等 対象の住戸ごとに作成		
15	対象工事	4-3(3)、(4)	改修工事の内容：共用部分		
16	対象工事	4-4	改修工事実施予定部分写真 対象工事の該当ページを作成		
17	必須	添付⑦	工事請負契約書の写し、及び見積書		
18	対象工事	添付⑧	改修工事に係る図面、資料等		
19	対象工事	添付⑨	建築確認済証の写し（建築確認が必要な場合のみ）		
20	必須	4-5	確認書（建築士による事業要件への適合確認）		
21	必須	添付⑩、⑪	建築士の免許証の写し及び、印鑑証明書の写し		
22	対象工事	5	耐震性能証明書（建築士による耐震性能証明）		
23	該当者	添付⑫、⑬	（耐震性能を証明した）建築士の免許証の写し及び、印鑑証明書の写し		
24	該当者	添付⑭	（耐震性能を証明した）建築士事務所登録証明書等の写し		

4-1は
子育て支援施設の申請がある場合、4-1(1)と(2)両方作成して下さい。
子育て支援施設の申請をしない場合、4-1(1)のみ作成して下さい。

対象工事番号 (支援室が記入) **初めて申請する場合は、記入しないでください。**

【交付様式: 1 - 1】

※既に交付決定通知を受けている場合は、交付決定通知の事業者番号を記入して下さい。

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

申請日: 平成 ○ △ 年 ○ △ 月 ○ △ 日

住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業実施支援室 宛

応募・交付申請書

すべての書類がそろってから、提出する日を記入して下さい。

住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業について、応募・交付申請書を提出します。

1. 申請する対象建物と所管居住支援協議会

所管の居住支援協議会は、申請する対象建物の住所により決まっています。所管の居住支援協議会毎に、「設定可能な家賃の上限」及び「入居対象者の収入基準」が異なるため、支援室のホームページで必ず確認してください。

枠線内に左詰めで記入して下さい。

対象建物	名称・棟番号	(フリガナ) ○○マンション ○○マンション	
	住所 (都道府県名より記入して下さい。)	〒 1 7 1 - 0 0 2 2 東京 都道府県	住所は郵便物などの宛名に使用する住居表示を記入して下さい。
	最寄駅	J R山の手線 池袋 駅	徒歩 10 分 バス 分 バス停から徒歩 分
	建物の実在確認ができる書類	<input checked="" type="checkbox"/> 登記事項証明書 <input type="checkbox"/> 固定資産税・都市計画税課税証明書	
協議会	名称 (都道府県・地区)	豊島区居住支援協議会	
	確認した家賃上限及び収入基準について ☑チェックし、併せて確認した金額を記入して下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> 月額上限家賃を確認した	214,000 円以下
		高齢	106,000 円以下
		障害	106,000 円以下
		子育て	106,000 円以下

対象建物所在地を管轄する協議会名称を記入して下さい。また、ホームページで月額上限家賃と収入基準を確認して下さい。

2. 補助申請の規模

補助申請額	2 8 3 3 0 0 0 円
-------	-----------------

↑ 補助申請額を記入して下さい。(右詰め) 千円未満は切り捨て

子育て支援施設「あり」の場合は、交付様式4-1(2)「M 補助申請額」を、「なし」の場合は4-1(1)「F 補助申請額」を記入して下さい。

3. 申請者 (改修工事を発注する者) の情報

申請者	氏名又は法人名	(フリガナ) アンシン タロウ あんしん 太郎	申請者印 印
	法人の代表者名	(フリガナ) (役職)	
	住所 (都道府県名より記入して下さい。)	〒 1 3 5 - 0 0 1 東京 都道府県 江東区○○	申請書に押印する印鑑は統一して下さい。また、印鑑証明を添付する場合は、印鑑証明と同じ印を使用して下さい。
	連絡先	電話番号 0 3 - 1 2 3 - 4 5 6 7 緊急連絡先 0 9 0 - 1 2 3 - 4 5 6 7 FAX 0 3 - 1 2 3 - 4 5 6 7	
	E-mailアドレス	anshin△△@.co.jp	<input type="checkbox"/> 特になし
個人の場合	本人確認ができる書類	<input checked="" type="checkbox"/> 運転免許証の写し <input type="checkbox"/> 日本国パスポートの写し <input type="checkbox"/> 在留カードまたは特別永住者証明書の写し <input checked="" type="checkbox"/> 印鑑証明の写し <input type="checkbox"/> 健康保険被保険者証 (健康保険証) または後期高齢者医療被保険者証の写し <input type="checkbox"/> 住民票	
法人の場合	法人の実在確認ができる書類	<input type="checkbox"/> 商業登記の現在事項証明書 (履歴事項証明書でも可) の写し <input type="checkbox"/> 法人印の印鑑証明の写し	

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成28年度】応募・交付申請書

対象工事番号 (支援室が記入)																				
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：1-2】

※既に交付決定通知を受けている場合は、交付決定通知の事業者番号を記入して下さい。

4. 事務連絡先（代行申請者）の概要

本人確認が印鑑証明による場合は
印鑑証明書と同じ印鑑を押印して下さい↓

事務 連 絡 先	担当者	氏名	(フリガナ) コウジ イチロウ 工事 一郎	代行 申 請 者 印	※法人の場合は法人印を押印	
	所属	法人名	(フリガナ) カブシキカイシャ 株式会社 ○○			
		部署・役職	リフォーム部 課長			
	連絡先	住所 (都道府県名より 記入して下さい)	〒 1 0 3 - 0 0 2 東京 都・道 府・県 中野区	申請書に押印する印鑑は統一して下さい。 また、印鑑証明を添付する場合は、 印鑑証明書と同じ印を使用して下さい。		
		電話番号	0 3 - 1 2 3 - 4 5 6 7			
		緊急連絡先	0 9 0 - 1 2 3 - 4 5 6 7			
		FAX	0 3 - 1 2 3 - 4 5 6 7			
		E-mailアドレス	kouji@co.jp			<input type="checkbox"/> 特になし
	個人の場合	本人確認ができる書類	<input type="checkbox"/> 運転免許証の写し <input type="checkbox"/> 日本国パスポートの写し <input type="checkbox"/> 在留カードまたは特別永住者証明書の写し <input type="checkbox"/> 印鑑証明の写し <input type="checkbox"/> 健康保険被保険者証（健康保険証）または後期高齢者医療被保険者証の写し <input type="checkbox"/> 住民票			
	法人の場合	法人の実在確認ができる書類	<input type="checkbox"/> 商業登記の現在事項証明書（履歴事項証明書でも可）の写し <input checked="" type="checkbox"/> 法人印の印鑑証明の写し			

5. 建物所有者の概要（申請者と異なる場合、もしくは共有者がいる場合に記入して下さい）

本人確認が印鑑証明による場合は
印鑑証明書と同じ印鑑を押印して下さい↓

建物 所有 者 (共有者含む)	建物所有者	氏名又は法人名	(フリガナ)	建物 所有 者 印	※法人の場合は法人印を押印
		法人の代表者名	(フリガナ)		
		(役職)			
	連絡先	住所 (都道府県名より 記入して下さい)	〒 -	申請書に押印する印鑑は統一して下さい。 また、印鑑証明書を添付する場合は、 印鑑証明書と同じ印鑑を押印して下さい。	
		電話番号	-		
個人の場合	本人確認ができる書類	<input type="checkbox"/> 運転免許証の写し <input type="checkbox"/> 日本国パスポートの写し <input type="checkbox"/> 在留カードまたは特別永住者証明書の写し <input type="checkbox"/> 印鑑証明の写し <input type="checkbox"/> 健康保険被保険者証（健康保険証）または後期高齢者医療被保険者証の写し <input type="checkbox"/> 住民票			
法人の場合	法人の実在確認ができる書類	<input type="checkbox"/> 商業登記の現在事項証明書（履歴事項証明書でも可）の写し <input checked="" type="checkbox"/> 法人印の印鑑証明の写し			

6. 対象建物の転貸人（対象住戸の入居者への賃貸人が建物所有者と異なる場合に記入して下さい）

対象 住 宅 の 転 貸 人	転貸人	氏名又は 法人名	(フリガナ)
		法人の代表者名 (役職)	(フリガナ)
	連絡先	住所 (都道府県名より 記入して下さい)	〒 -
		電話番号	-
	添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> サブリースに係る確認書 交付申請要領の別添様式を使用して下さい。	

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成28年度】応募・交付申請書

対象工事番号
(支援室が記入)

【交付様式：1-3】

(申請者と建物所有者が異なる場合に記入してください。)

住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業に関する同意書

私が所有する下記の建物について、国土交通省所管の住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業の制度内容及び交付申請要領等を理解した上で、同事業の要件を遵守することを誓約し、同事業の補助金の交付を受けるための申請に同意します。

所有者が異なる場合もしくは共有者が複数の場合は、申請者を除く全員の同意書が必要です。

平成 年 月 日


対象建物の所在地：

対象建物の名称：

[建物所有者]

(法人名) ：

氏名(代表者名)：

申請書【交付様式：1-2】と同じ印鑑を押印ください。 

※3人目以降の申請者は、各自の印鑑証明書の印を押してください。また、本人を証明する書類の添付をして下さい。

住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業に関する確認書

- 一 国土交通省所管の住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業の制度内容及び交付申請要領等を理解した上で、同推進事業の要件を遵守します。
- 二 改修工事後に賃貸借契約を締結して、本事業で規定する入居対象者の居住用として賃貸する住宅とします。
※ 入居対象者は、高齢者世帯、障害者等世帯又は子育て世帯のいずれかに該当し、かつ、入居の際の収入が15万8千円以下の者であって、従前居住地が持家でない者とする。
ただし、居住支援協議会が認める場合にあつては、入居の際の収入を、地方公共団体が条例で定める当該入居者に係る公営住宅の入居に関する収入の基準とすることができる。
- 三 災害時に被災者の利用のために提供する対象となる住宅であること。
地方公共団体と賃貸住宅に係る団体の間での、災害時における民間賃貸住宅の活用に関する協定を締結した団体の構成員の場合は「当該協定」に従うこと、構成員でない場合は「当該協定」の趣旨に準じて地方公共団体からの要請に基づき災害時に被災者利用のため対象住宅の提供（住宅のあっせん等）に協力すること。
- 四 改修工事、賃貸住宅の管理等本事業の実施に当たり、暴力団員が関与することはありません。
- 五 手続きの代行を他の者に依頼する場合、事業の実施状況（手続きの実施状況、改修工事の実施状況、工事費の支払状況等）について、常に手続きの代行を行う者と情報を共有し、申請者として責任を持って事業の進捗管理を行います。

上記の一から五の事業要件等を確認しました。

上記事業要件等に合致しておりますので署名押印の上、確認書を提出します。

なお、上記事業要件等に万が一違反した場合は、補助金を全額返還致します。

平成 年 月 日

[申請者]

一から五の事業要件をよく確認した上で、署名捺印をして下さい。

(法人名) :

氏名(代表者名) :

印

(申請書【交付様式：1-1】と同じ印鑑を押印ください。)

上記の一から五の事業要件等を確認しました。

標記内容に間違いのないことを誓約し、署名押印の上、確認書を提出します。

[事務連絡先 (代行申請者)]

一から五の事業要件をよく確認した上で、署名捺印をして下さい。

(法人名) :

氏名(代表者名) :

印

(申請書【交付様式：1-2】と同じ印鑑を押印ください。)

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3-1】

対象建物1棟毎に1枚のシートを作成して下さい。

対象建物概要書

本事業の対象となる改修工事を実施する「建物」について記入してください。

対象建物の 名称・棟番号	(フリガナ) ○○マンション ○○マンション
-----------------	---------------------------

建物総戸数をご記入下さい。申請空家
ではありません。ご注意下さい。

1. 対象建物の規模・構造・用途

申請空家数を記入して下さい。

		改修工事前	→	改修工事後	備考
戸数	総戸数	4 戸	→	4 戸	用途が住宅である戸数を記入してください。
	対象住戸の戸数		→	4 戸	対象住戸とは、改修後に、住宅確保要配慮者と賃貸借契約を締結して居住用として賃貸する住戸のことです。
規模	地上階数	2 階	→	2 階	交付様式4-5の確認書（建築士による事業要件への適合確認）は当該建築物を設計・監理することができる建築士が確認する。
	地下階数	0 階	→	0 階	
	基準階床面積	120 m ²	→	120 m ²	
	延べ床面積	240 m ²	→	240 m ²	
構造		R C 造	→	R C 造	
新築着工年月日		(昭和 ・ 平成) ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日			
新築着工年月日が 昭和56年5月31日以前 の建物の場合		<input type="checkbox"/> 既に地震に対する安全性に係る規定に適合 することが確認されている。			応募・交付申請時に、耐震性能証明書（交付様式：5）を提出してください。
		<input type="checkbox"/> 本事業において、現行の耐震基準に適合させ る耐震改修工事を行う。			完了実績報告時に耐震改修工事証明書（完了様式：6）を提出してください。
		<input type="checkbox"/> 補助事業以外において、現行の耐震基準に 適合させる耐震改修工事を行う。			交付様式4-1にて他の補助金の名称を記載してください。完了実績報告時に耐震改修工事証明書（完了様式：6）を提出してください。
用途	改修工事前の用途	賃貸住宅	<input type="checkbox"/> 戸建住宅	<input type="checkbox"/> 共同住宅	<input type="checkbox"/> 併用住宅
	複合用途の建築物の場合は、 該当するもの全てに ☑チェックしてください。	賃貸住宅以外	<input type="checkbox"/> 戸建住宅	<input type="checkbox"/> 共同住宅	<input type="checkbox"/> 併用住宅
		住宅以外	<input checked="" type="checkbox"/> 店舗・事務所	<input type="checkbox"/> その他（	）

※改修前の用途が住宅であっても、賃貸住宅ではない場合は改修後に賃貸住宅として管理する必要があります。

※改修前の用途が店舗・事務所等の場合は、賃貸住宅に用途変更する必要があります。この場合、賃貸住宅にするための改修工事を補助対象とすることができます。

※建築基準法ほか関連法規に適合する法定手続きがなされていることが前提です。

子育て支援施設がある場合に、記入して下さい。

2. 子育て支援施設の概要

		改修工事前	→	改修工事後	備考
施設数	対象施設数	0 施設	→	1 施設	対象施設とは、改修後に子育て支援施設として整備された施設のことです。
規模	床面積	0 m ²	→	50 m ²	
種別	整備後の施設の種類の 該当するもの全てに ☑チェックしてください。	<input type="checkbox"/> 認証保育所	<input type="checkbox"/> 託児所	<input type="checkbox"/> 保育室	<input type="checkbox"/> 学童保育所
		<input checked="" type="checkbox"/> キッズルーム	<input type="checkbox"/> その他（	）	
備考					

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成28年度】対象建物概要書

対象工事番号
(支援室が記入)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3-2】

対象建物1棟毎に1枚のシートを作成して下さい。

3. 工事着工前の外観写真

対象建物全体がおおむね分かるように撮影した写真を貼り付けてください。

撮影日は必ず記入して下さい。

撮影日：平成

年

月

日

※申請日の3ヶ月以内に撮影した写真

建物全体が確認できる写真を貼り付けて下さい。

外観写真1

現像またはプリントアウトしたものを
のりで貼り付けるか、
ワードもしくはエクセルのデータ上に
画像データを貼り付けてください

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3-3】

空家1戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の空家について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

対象住戸概要書

申請空家毎に作成して下さい。

本事業の対象となる改修工事を実施する「住戸」について記入して下さい。

1. 対象住戸の概要

枠線内に左詰めで記入して下さい。

名称・棟番号	(フリガナ) ○○マンション ○○マンション		
部屋番号	101	改修工事前の家賃 (管理費および共益費を除く家賃)	38,000 円
改修工事前の床面積 ※小数点以下切り捨て	52 m ²	改修工事後の床面積 ※小数点以下切り捨て	52 m ²
改修工事前の間取り	2DK	改修工事後の間取り	1LDK
改修工事前の設備の有無 ※右欄の該当するものを全てに☑チェックして下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 収納設備 <input checked="" type="checkbox"/> 浴室 <input checked="" type="checkbox"/> 洗面設備		改修工事前に無い設備は完了実績報告までに設置する必要があります。
居間、食堂、台所その他の住宅部分について、入居者が共同して利用する建物で、面積要件を緩和する住戸の場合、右欄に☑をお願いします。			<input type="checkbox"/>
共同して利用する部分に☑ チェックして下さい。			<input type="checkbox"/> 居間 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 収納設備 <input type="checkbox"/> 浴室 その他 ()
地域住宅計画において別の面積が定められている場合の当該面積該当する場合右欄に☑し、当該面積を記入して下さい。			<input type="checkbox"/> m ²
バリアフリー性 ※改修工事前、既に対応が行われているものを全てに☑チェックして下さい。	<input checked="" type="checkbox"/> 以下の箇所に手すりが設置されている <input type="checkbox"/> 浴室 <input checked="" type="checkbox"/> 便所 <input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所 <input checked="" type="checkbox"/> 玄関、廊下又は階段（住戸内） <input type="checkbox"/> 屋内の段差解消 <input type="checkbox"/> 車いすで通行可能な廊下幅の確保		改修工事後の対象住戸内に、左記のいずれかの対応が行われていることが必要となります。
改修工事前の用途	賃貸住宅	<input type="checkbox"/> 戸建住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 共同住宅 <input type="checkbox"/> 併用住宅
	賃貸住宅以外	<input type="checkbox"/> 戸建住宅	<input type="checkbox"/> 共同住宅 <input type="checkbox"/> 併用住宅
	住宅以外	<input type="checkbox"/> 店舗・事務所	<input type="checkbox"/> その他 ()
空家状況の確認	<input checked="" type="checkbox"/> 建築士による適合確認書【交付様式：4-5】		

※改修前の用途が住宅であっても、賃貸住宅ではない場合は改修後に賃貸住宅として管理する必要があります。

※改修前の用途が店舗・事務所等の場合は、賃貸住宅に用途変更する必要があります。この場合、賃貸住宅にするための改修工事を補助対象とすることができます。

※建築基準法ほか、関連法規に適合する法定手続きがなされていることが前提です。

「対象住戸の現況」と「補助対象工事の予定」を確認した上でチェックを入れて下さい。

申請する空家の住宅要件として、「入居者が共同して利用する部分」がある場合は、写真提出が必要です。
様式3-4(1)(2)の部屋番号の欄には共用部と記入し、該当する部分の写真貼付をしてください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成28年度】対象住戸概要書

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3-4(1)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

2. 工事着工前の対象住戸写真(1)

改修工事前
改修工事前
チェックして

※交付様式3-3で「共用部」がある場合は共用部と記入して下さい。

現況写真を貼り付けてください。

事務所等住宅以外の用途の場合は、「該当設備なし」欄に☑

ただし、改修工事後の住戸には要件に適合する設備等を具備する必要があります。

撮影日は必ず記入して下さい。

部屋番号	申請空家毎に作成して下さい。	撮影日：平成	年	月	日
------	----------------	--------	---	---	---

※申請日の3ヶ月以内に撮影した写真

居室の写真 (住宅以外の用途の場合は、内部が確認できる写真を貼り付けてください。)	台所の写真 <input type="checkbox"/> 該当設備なし
居室の写真	台所の写真
<p>「居室」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。事務所等の住宅以外の用途の場合は、現況の用途(執務室等)を撮影して下さい。</p>	<p>「台所」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。事務所等の住宅以外の用途で当該設備がない場合は「該当設備なし」欄にチェックして下さい。</p> <p>(※改修工事後の対象住戸には、台所を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意下さい。)</p>

水洗便所の写真 <input type="checkbox"/> 該当設備なし	収納設備の写真 <input type="checkbox"/> 該当設備なし
水洗便所の写真	収納設備の写真
<p>「水洗便所」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。事務所等の住宅以外の用途で当該設備がない場合は「該当設備なし」欄にチェックして下さい。</p> <p>(※改修工事後の対象住戸には、水洗便所を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意下さい。)</p>	<p>「収納設備」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。事務所等の住宅以外の用途で当該設備がない場合は「該当設備なし」欄にチェックして下さい。</p> <p>(※改修工事後の対象住戸には、収納設備を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意下さい。)</p>

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成28年度】対象住戸概要書

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3-4(2)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

2. 工事着工前の対象住戸写真(2)

改修工事前
改修工事前
チェックして

※交付様式3-3で「共用部」がある場合は共用部と記入して下さい。

状況写真を貼り付けてください。

事務所等住宅以外の用途の場合は、「該当設備なし」欄に☑

ただし、改修工事後の住戸には要件に適合する設備等を具備する必要があります。

撮影日は必ず記入して下さい。

部屋番号	申請空家毎に作成して下さい。	撮影日：平成	年	月	日
------	----------------	--------	---	---	---

※申請日の3ヶ月以内に撮影した写真

洗面設備の写真	<input type="checkbox"/> 該当設備なし	浴室の写真	<input type="checkbox"/> 該当設備なし
洗面設備の写真		浴室の写真	
<p>「洗面設備」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。事務所等の住宅以外の用途で当該設備がない場合は「該当設備なし」欄にチェックして下さい。</p> <p>(※改修工事後の対象住戸には、洗面設備を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)</p>		<p>「浴室」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。事務所等の住宅以外の用途で当該設備がない場合は「該当設備なし」欄にチェックして下さい。</p> <p>(※改修工事後の対象住戸には、浴室を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)</p>	

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成28年度】対象住戸概要書

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3-5】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

3. 工事着工前の対象住戸写真（バリアフリー対応がなされている場合）

改修工事前の対象住戸で、既に所定のバリアフリー対応がなされていることが確認できる当該部分の写真を貼り付けてください。（申請日の3ヶ月以内に撮影した写真を貼り付けてください。）

対応がなされていない場合、この様式を作成する必要はありません。

撮影日は必ず記入して下さい。

部屋番号	申請空家毎に作成して下さい。	撮影日：平成	年	月	日
------	----------------	--------	---	---	---

すでに対応されている内容	<input type="checkbox"/> 手すり設置	<input type="checkbox"/> 段差解消	<input type="checkbox"/> 廊下幅の確保
--------------	--------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

↓写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。

箇所名	○○	写真番号	○○	箇所名	○○	写真番号	○○
バリアフリー対応の写真				バリアフリー対応の写真			
現像またはプリントアウトしたものを				現像またはプリントアウトしたものを			
「バリアフリー対応」 （手すり設置、段差解消、廊下幅の確保）がされている周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。							

すでに対応されている内容	<input type="checkbox"/> 手すり設置	<input type="checkbox"/> 段差解消	<input type="checkbox"/> 廊下幅の確保
--------------	--------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

↓写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。

箇所名		写真番号		箇所名		写真番号	
バリアフリー対応の写真				バリアフリー対応の写真			
現像またはプリントアウトしたものを				現像またはプリントアウトしたものを			
「バリアフリー対応」 （手すり設置、段差解消、廊下幅の確保）がされている周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。							

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成28年度】対象住戸概要書

対象工事番号
(支援室が記入)

【交付様式：4-1(1)】

対象建物1棟毎に1枚のシートを作成して下さい。用途変更なし・用途変更ありに☑チェックして下さい。

工事計画書 用途変更なし 用途変更あり

1. 補助対象工事について **賃貸住宅部分について、用途変更なし・用途変更ありを選んでチェックして下さい。**

実施する改修工事の内容として、事業要件に該当するもの**全てに☑チェックして下さい。**

なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認してください。

申請する項目にチェックをして下さい。

分類	改修工事の名称	工事種別	数量	補助対象金額(税抜)	
イ	バリアフリー改修工事 交付申請要領(参考1) に準じるものとする。	改修後の対象住戸には右記のいずれかが対応されていることが必要です。	手すりの設置 <input checked="" type="checkbox"/>	2 32,500 円	
		段差解消 <input checked="" type="checkbox"/>	1 468,200 円		
		廊下幅等の拡張 <input type="checkbox"/>		円	
		浴室の改良 <input type="checkbox"/>		円	
		便所の改良 <input type="checkbox"/>		円	
		出入口の戸の改良 <input type="checkbox"/>		円	
		階段の設置・改良 <input type="checkbox"/>		円	
	上記に加えて補助対象となる工事	転倒防止 <input type="checkbox"/>		円	
補助対象費用(バリアフリー改修工事) 小計				500,700 円	
□	耐震改修工事 昭和56年5月31日以前に着工された住宅について、現行の耐震基準に適合させるもの	※建築基準法等関係法令適合について建築士の確認を要します。	<input type="checkbox"/>		円
ハ	他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事 戸建住宅や事務所等の賃貸住宅以外の用途の建物を 賃貸住宅に用途変更 するために必要となる改修工事	※建築基準法の建築確認申請が必要です。	<input checked="" type="checkbox"/>	2	5,000,000 円
ニ	入居対象者の居住の安定の確保を図るため居住支援協議会が必要と認める改修工事	※所管の協議会が設定していない場合は補助対象となりません。	<input type="checkbox"/>		円
	諸経費、値引き等を別項目としている場合はこちらに記入して下さい。		<input type="checkbox"/>		円
			<input type="checkbox"/>		円
C 補助対象工事費(賃貸住宅部分) 合計				5,500	千円

2. 対象建物における空家等戸数 **【交付様式:3-1】の対象住戸の戸数と相違がないようにして下さい。**

総戸数 戸 のうち対象住宅戸数 A: 戸 用途変更なし
対象住宅戸数 B: 戸 用途変更あり

3. 補助対象費用(改修工事費) **【税抜】**

↓千円未満切り捨て・税抜で記載して下さい。

項目	金額欄	備考
C 補助対象工事費(賃貸住宅部分)	5 5 0 0 千円	上記「1. 補助対象工事について」の補助対象工事費(賃貸住宅部分)の金額となり
D C(補助対象工事費) × 1/3	1 8 3 3 千円	
E1 A(対象住戸数) × 50万円	1 0 0 0 千円	用途変更なし
E2 B(対象住戸数) × 100万円	2 0 0 0 千円	用途変更あり
E 賃貸住宅部分の上限額(=E1+E2)	3 0 0 0 千円	E1とE2の合計が賃貸住宅部分の上限額になります。
F 補助申請額(賃貸住宅部分)	1 8 3 3 千円	DとEの金額のうち、低い方を記入する。

※子育て支援施設の無い場合は、F 補助申請額(賃貸住宅部分)が交付様式1-1の補助申請額になります。

■ 他の補助金の有無

本事業以外に、国や地方公共団体の補助金を申請又は受領する予定がある場合、下記に事業名と本事業との区分けを明記してください。

この記入欄に内容が収まらない場合は、ここには「別紙添付」と記載の上、別紙(任意様式)の提出可。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成28年度】工事計画書

対象工事番号
(支援室が記入)

【交付様式：4-1(2)】

対象建物1棟毎に1枚のシートを作成して下さい。子育て支援施設がある場合は☑チェックして下さい。

工事計画書 子育て支援施設

1. 補助対象工事について

賃貸住宅部分について、子育て支援施設をチェックして下さい。

実施する改修工事の内容として、事業要件に該当するもの全てに☑チェックして下さい。

申請する項目にチェックして下さい。

分類	改修工事の名称	工事種別	数量	補助対象金額 (税抜)
ホ	子育て支援施設整備のための改修工事	<input checked="" type="checkbox"/>	1	5,000,000 円
	施設分の諸経費、値引き等を別項目としている場合はこちらに記入してください。	<input type="checkbox"/>		円
		<input type="checkbox"/>		円
H 補助対象工事費 (子育て支援施設部分) 合計			5,000	千円

2. 対象建物における子育て支援施設数

対象施設数 G : 施設

交付様式4-1(1)の F補助申請額(賃貸住宅部分)の金額を記入してください。

3. 補助対象費用 (改修工事費) 【税抜】

↓千円未満切り捨て・税抜で記載して下さい。

項目	金額欄	備考
H 補助対象工事費 (子育て支援施設部分)	5 0 0 0 千円	上記「1.補助対象工事について」の補助対象工事費 (子育て支援施設部分) の金額となります。
I H (補助対象工事費) × 1 / 3	1 6 6 6 千円	
J G (対象施設数) × 100万円	1 0 0 0 千円	
K F 補助申請額 (賃貸住宅部分)	1 8 3 3 千円	賃貸住宅部分の補助申請額を記入する。
L 施設の補助額 (子育て支援施設部分)	1 0 0 0 千円	IとKの金額のうち、一番低い金額を記入する。
F 補助申請額 (賃貸住宅部分)	1 8 3 3 千円	交付様式4-1 (1) のFの金額を記入する。
M 補助申請額 (全体) ※	2 8 3 3 千円	LとFの金額の合計を記入する。

※子育て支援施設がある場合は、M補助申請額 (全体) が交付様式1-1の補助申請額になります。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成28年度】工事計画書

対象工事番号 (支援室が記入)										
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4-2】

対象住宅1棟毎に1枚のシートを作成して下さい。

4. 改修工事について

契約した 施工者	名称等	氏名又は 法人名	(フリガナ) カブシキガイシャ ○○ケンチュク 株式会社 ○○建築						施工者 印	※法人の場合は法人印を押印							
		法人の 代表者名	(フリガナ) ダイク チカラ 大工 力														
		役職	代表取締役														
	連絡先	住所 (都道府県名より 記入して下さい)	〒	1	0	3	-	0	0	2	7	東京	都・道 府・県	中央区日本橋	申請書に押印する印鑑は統一して下さい。		
	電話番号	0	3			-	3	1	2	3	-	5	5	6	6		
建設業許可番号 (建設業許可を受けている場合に記入して下さい)																	
工事請負契約日	平成	27	年	7	月	20	日	請負 金額	4,000,000	円 (消費税抜き)							
工事着工予定日	平成	27	年	9	月	1	日										
工事完了予定日	平成	27	年	10	月	30	日										

※複数の事業者に分離して発注する場合(分離発注)は用紙を追加して下さい。
 ※分離発注は、改修工事の分類(イ・ロ・ハ・ニ)毎に請負契約を締結するもののみ認めます。

工事請負契約書(消費税抜き)の金額を記入して下さい。

5. 補助対象工事費内訳

分類	工事種別	数量	金額(税抜)	備考
イ	手すりの設置	2	32,500	トイレ設置I型1本×2
イ	段差解消	1	468,200	DKと和室間の工事
補助対象工事費全体	合計		500,700	↓千円未満切捨て金額 ←この金額は【交付様式：4-1(1)】のC補助対象工事費と【交付様式：4-1(2)】のH補助対象工事費の合計と同額となります。 500 千円

見積書(内訳書)と申請補助対象工事費が判断できるように工事項目等記入して下さい。

- ※1 補助対象工事は、交付様式4-3及び4-4の分類、工事種別毎に記入し、各々の数量及び金額を記入して下さい。また、備考欄には部屋番号、施工箇所、施工量(概数)を明記してください。
- ※2 工事請負契約における見積書で、諸経費や値引き額を項目分けて計上している場合は、上記内訳にも項目を分けて記入してください。
- ※3 「賃貸住宅に用途変更するための改修工事」を行う場合を除き、店舗、事務所等に係る工事は補助対象となりません。

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4-3(1)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

6. 改修工事の内容：空家（イ. バリアフリー改修工事）

交付申請要領（参考1）
に準じるものとする。

部屋番号	
------	--

（空家）申請工事内容をチェックし、工事内容を確認する書類も添付して下さい。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄）	工事内容を確認する書類（添付）
イ バ リ ア フ リ ー 改 修 工 事 （ 空 家 ）	手すりの設置 ただし、工事後対象住宅のバリアフリー性の要件となる場合は2箇所以上の対応が必要となる	<input type="checkbox"/> 便所 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所 <input type="checkbox"/> 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 <input type="checkbox"/> 玄関・廊下又は階段	<input type="checkbox"/> 手すりの設置箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等）
	段差解消 既存の段差を無にする工事とする。ただし、勝手口等は差を小さくする工事も含む。	<input type="checkbox"/> 勝手口等以外の出入口 <small>施工箇所を下記に記入して下さい。</small> <input type="checkbox"/> 廊下の床 <small>施工箇所を下記に記入して下さい。</small> <input type="checkbox"/> 勝手口等、上り框、浴室出入口 <small>施工箇所を下記に記入して下さい。</small>	<input type="checkbox"/> 段差解消工事箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <small>勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。</small>
	廊下幅等の拡張 おおむね750mm以上に拡張する工事とする。ただし、浴室出入口は600mm以上。	<input type="checkbox"/> 出入口 <small>施工箇所を下記に記入して下さい。</small> <input type="checkbox"/> 廊下等	<input type="checkbox"/> 廊下幅等の拡張箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <small>寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。</small>
	浴室の改良	<input type="checkbox"/> 床面積の増加（おおむね1.8㎡以上及び短辺の内法寸法が1,200mm以上） <input type="checkbox"/> 浴槽のまたぎ高さを低くする工事 <input type="checkbox"/> 固定式の移乗台、踏み台等の設置 <input type="checkbox"/> 水栓器具の改良（設置・交換）	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 <small>浴槽のまたぎ高さは寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。</small> <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料
	便所の改良	<input type="checkbox"/> 床面積の増加（長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上） <input type="checkbox"/> 座便式の便器に交換する工事 <input type="checkbox"/> 座便式の便器の座高を高くする工事	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 <small>必要に応じて寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。</small> <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料
	出入口の戸の改良	<input type="checkbox"/> 開戸を引戸、折戸等に交換 <input type="checkbox"/> 開戸のドアノブ交換 <input type="checkbox"/> 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料
	階段の設置・改良 既存階段の撤去を伴うものに限る。	<input type="checkbox"/> 階段	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 既存階段の写真 <small>踏面・蹴上に寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。</small>
	転倒防止	<input type="checkbox"/> 便所 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所 <input type="checkbox"/> 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 <input type="checkbox"/> 玄関 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料

※1 完了実績報告で改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合もありますのでご注意ください。

（注）この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成28年度】工事計画書

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4-3(2)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

6. 改修工事の内容：空家（八、二）

実施する改修工事の内容として、事業要件に該当するもの**全てに**☑**チェック**して下さい。
 なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認して下さい。

部屋番号

（空家）申請工事内容をチェックし、工事内容を確認する書類も添付して下さい。

分類	工事種別	施工部位等（工事ナエック欄） 空欄の場合は施工箇所を記入して下さい		工事内容を確認する書類（添付）
八	他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 改修工事に係る計画図面 <input type="checkbox"/> 賃貸住宅に用途変更する工事の施工箇所の改修工事前の状況を撮影した写真
入居対象者の居住の安定の確保を図るため居住支援協議会が必要と認める改修工事	住宅の間取りの変更に係る工事	<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 改修工事に係る計画図面 <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	設備（台所・洗面等）の利便性向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	遮音性・防音性の向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	断熱性・気密性の向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	防犯性の向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	照明や給湯器等の設備の高効率化工事	<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
		<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
		<input type="checkbox"/>	空家	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真

- ※1 完了実績報告で改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。
- ※2 所管の居住支援協議会ごとに認める改修工事が異なります。補助対象となる工事内容を、事前に所管の居住支援協議会に必ずご確認ください。完了実績報告で所管の協議会が意図する工事内容に適合しないことが判明した場合、施工済みであっても補助対象外となる場合があります。なお、この場合、当支援室は一切責任を負いませんので、ご納得のうえ申請してください。

（注）この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成28年度】工事計画書

対象工事番号
(支援室が記入)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4-3(3)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

6. 改修工事の内容：共用部分（イ. バリアフリー改修工事）

実施する改修工事の内容として、事業要件に該当するもの**全てに☑チェック**して下さい。

なお、改修工事

（共用部分）申請工事内容をチェックし、工事内容を確認する書類も添付して下さい。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄）	工事内容を確認する書類（添付）	
イ バ リ ア フ リ ー 改 修 工 事 （ 共 用 部 分 ）	手すりの設置 ただし、共用部分に設置するものは改修後の対象住宅のバリアフリー性の要件に含むことはできません	<input type="checkbox"/> 共用便所	<input type="checkbox"/> 手すりの設置箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等）	
		<input type="checkbox"/> 共用浴室		
		<input type="checkbox"/> 共用の洗面所又は脱衣所		
		<input type="checkbox"/> 共用の居室		
		<input type="checkbox"/> 共用の玄関・廊下又は階段		
	段差解消 既存の段差を無にする工事とする。ただし、勝手口等は差を小さくする工事も含む。	<input type="checkbox"/> 共用廊下の床	施工箇所を下記に記入して下さい。	<input type="checkbox"/> 段差解消工事箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） 勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影して下さい。
		<input type="checkbox"/> 共用玄関・勝手口等、浴室出入口	施工箇所を下記に記入して下さい。	
	廊下幅等の拡張 おおむね750mm以上に拡張する工事とする。ただし、浴室出入口は600mm以上。	<input type="checkbox"/> 共用の出入口	施工箇所を下記に記入して下さい。	<input type="checkbox"/> 廊下幅等の拡張箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） 寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影して下さい。
		<input type="checkbox"/> 共用廊下等		
	共用浴室の改良	<input type="checkbox"/> 床面積の増加(おおむね1.8㎡以上及び短辺の内法寸法が1,200mm以上)		<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 浴槽のまたぎ高さは寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影して下さい。
		<input type="checkbox"/> 浴槽のまたぎ高さを低くする工事		
		<input type="checkbox"/> 固定式の移乗台、踏み台等の設置		
<input type="checkbox"/> 水栓器具の改良（設置・交換）				
共用便所の改良	<input type="checkbox"/> 床面積の増加(長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上)		<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 必要に応じて寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影して下さい。	
	<input type="checkbox"/> 座便式の便器に交換する工事			
	<input type="checkbox"/> 座便式の便器の座高を高くする工事			
共用出入口の戸の改良	<input type="checkbox"/> 開戸を引戸、折戸等に交換		<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料	
	<input type="checkbox"/> 開戸のドアノブ交換			
	<input type="checkbox"/> 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置			
共用階段の設置・改良	<input type="checkbox"/> 階段		<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 既存階段の写真 踏面・蹴上に寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影して下さい。	
共用部分の転倒防止	<input type="checkbox"/> 便所		<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 <input type="checkbox"/> 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料	
	<input type="checkbox"/> 浴室			
	<input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所			
	<input type="checkbox"/> 居室			
	<input type="checkbox"/> 玄関			
	<input type="checkbox"/> 廊下			
	<input type="checkbox"/> 階段			

※1 完了実績報告で改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合もありますので注意ください。

（注）この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成28年度】工事計画書

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4-3(4)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

6. 改修工事の内容：共用部分（ロ、ハ、ニ、ホ）

実施する改修工事の内容として、事業要件に該当するもの**全てに☑チェック**して下さい。
 なお、改修工事の要件の詳細については、**交付申請要領を確認**して下さい。

(共用部分) 申請工事内容をチェックし、工事内容を確認する書類も添付して下さい。

分類	工事種別	施工部位等（工事ナック欄） 空欄の場合は施工箇所を記入して下さい		工事内容を確認する書類（添付）
ロ	耐震改修工事 昭和56年5月31日以前に着工された住宅について、現行の耐震基準に適合させるもの	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 改修工事に係る計画図面 <input type="checkbox"/> 耐震改修工事の施工箇所の改修工事前の状況を撮影した写真
ハ	他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 建築確認申請済書の写し <input type="checkbox"/> 改修工事に係る計画図面 <input type="checkbox"/> 賃貸住宅に用途変更する工事の施工箇所の改修工事前の状況を撮影した写真
ニ 入居対象者の居住の安定の確保を図るため居住支援協議会が必要と認める改修工事	設備（台所・洗面等）の利便性向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	共用	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	遮音性・防音性の向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	共用	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	断熱性・気密性の向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	共用	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	防犯性の向上に係る工事	<input type="checkbox"/>	共用	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	照明や給湯器等の設備の高効率化工事	<input type="checkbox"/>	共用	<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
ホ	子育て支援施設整備のための改修工事	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 改修工事の実施箇所、設備の仕様が確認できる書類（図面・カタログ等） <input type="checkbox"/> 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真

- ※1 完了実績報告で改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。
- ※2 所管の居住支援協議会ごとに認める改修工事が異なります。補助対象となる工事内容を、事前に所管の居住支援協議会に必ずご確認ください。完了実績報告で所管の協議会が意図する工事内容に適合しないことが判明した場合、施工済みであっても補助対象外となる場合があります。なお、この場合、当支援室は一切責任を負いませんので、ご納得のうえ申請してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成28年度】工事計画書

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(1)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事—手すりの設置)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、 <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部	<input type="checkbox"/> 便所 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所	<input type="checkbox"/> 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 <input type="checkbox"/> 玄関、廊下又は階段
--	---	---	---

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「手すり設置」 工事する設置面の**部分写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「手すり設置」 工事する設置面の**全体写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(2)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事-段差解消)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 空家 勝手口等以外の出入口 勝手口等、上り框、浴室出入口(空家)
右欄のいずれかの施工箇所に 共用部 廊下の床 玄関・勝手口等、浴室出入口(共用部)
ついて、チェックをしてください。

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「段差解消」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

※勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は、寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影して下さい。

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「段差解消」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(3)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事-廊下幅等の拡張)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 空家 出入口
右欄のいずれかの施工箇所について、 チェックをしてください。 共用部 廊下等

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「廊下幅等の拡張」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※廊下幅等の場合は、寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影して下さい。

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「廊下幅等の拡張」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(4)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事-浴室の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 空家 床面積の増加(おおむね1.8㎡以上及び短辺の内法寸法が1,200mm以上) 固定式の移乗台、踏み台等の設置
右欄のいずれかの施工箇所について、 チェックをしてください。 共用部 水栓器具の改良(設置・交換)
 浴槽のまたぎ高さを低くする工事

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「浴室の改良」工事する浴室の**部分写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※床面積の増加、浴槽のまたぎ高さは、寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影して下さい。

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「浴室の改良」工事する浴室の**全体写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(5)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事-便所の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 空家 床面積の増加(長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上)
右欄のいずれかの施工箇所に 共用部 座便式の便器に交換する工事
ついて、チェックをしてください。 座便式の便器の座高を高くする工事

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「便所の改良」工事する便所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※床面積の増加、座高の高さに関する場合は、寸法が分かるようにメジャーを当て撮影して下さい。

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「便所の改良」工事する便所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(6)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事-出入口の戸の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所	<input type="checkbox"/> 空家	<input type="checkbox"/> 開戸を引戸、折戸等に交換
右欄のいずれかの施工箇所について、 <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。	<input type="checkbox"/> 共用部	<input type="checkbox"/> 開戸のドアノブ交換
		<input type="checkbox"/> 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「出入口の戸の改良」工事する箇所の**部分写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

※床段差高さに関する場合は、寸法が分かるようにメジャーを当て撮影して下さい。

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「出入口の戸の改良」工事する箇所の**全体写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意ください。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(7)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事-階段の設置・改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 空家
右欄のいずれかの施工箇所について、 チェックをしてください。
 共用部

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「階段の設置・改良」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※踏面・蹴上に寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影して下さい。

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「階段の設置・改良」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(8)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事-転倒防止)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所	<input type="checkbox"/> 空家	<input type="checkbox"/> 便所	<input type="checkbox"/> 浴室・便所・洗面所・脱衣所	<input type="checkbox"/> 廊下
右欄のいずれかの施工箇所について、 <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。	<input type="checkbox"/> 共用部	<input type="checkbox"/> 浴室	以外の居室	<input type="checkbox"/> 階段
		<input type="checkbox"/> 洗面所又は脱衣所	<input type="checkbox"/> 玄関	

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「転倒防止」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「転倒防止」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(9)】

対象建物1棟毎に1枚のシートを作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (耐震改修工事)

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所	<input checked="" type="checkbox"/> 共用部
------	---

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「耐震改修」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「耐震改修」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(10)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号	筒所番号	枚目/総枚数	枚
------	------	--------	---

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所について、 <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。	<input type="checkbox"/> 空家 <input type="checkbox"/> 共用部
--	---

工事前の部分写真 (撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
----------------------------------	--------------------

工事前の部分写真

「用途変更に伴う工事」工事する箇所の**部分写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真 (撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
----------------------------------	--------------------

工事前の全体写真

現像またはプリントアウトしたものを

「用途変更に伴う工事」工事する箇所の**全体写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(11)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (住宅の間取り変更に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
申請空家毎に作成して下さい。		↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。				
改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。						
施工箇所	<input checked="" type="checkbox"/> 空家	施工箇所を記入してください。				

工事前の部分写真		撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。			
(撮影日：平成	年	月	日	撮影者：)
<h3>工事前の部分写真</h3>					
<p>「間取り変更に係る工事」 工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。</p> <p>(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)</p>					

工事前の全体写真		撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。			
(撮影日：平成	年	月	日	撮影者：)
<h3>工事前の全体写真</h3>					
<p>「間取り変更に係る工事」 工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。</p> <p>(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)</p>					

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(12)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (設備(台所・洗面等)の利便性向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 空家 共用部 施工箇所を記入してください。
右欄のいずれかの施工箇所について、チェックをしてください。

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「設備に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「設備に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(13)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (遮音性・防音性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 空家 共用部
右欄のいずれかの施工箇所に
ついて、チェックをしてください。 施工箇所を記入してください。

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「遮音性・防音性に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「遮音性・防音性に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(14)A】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (断熱性・気密性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所	<input type="checkbox"/> 空家	施工箇所を記入してください。
右欄のいずれかの施工箇所に ついて、 <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。	<input type="checkbox"/> 共用部	

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「断熱性・気密性に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「断熱性・気密性に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(14)B】

一家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事 (断熱性・気密性の向上に係る工事-塗装工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号

箇所番号

枚目/総枚数

枚

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

独自の工事内容

施工箇所

右欄のいずれかの施工箇所について、チェックをしてください。

共用部

施工箇所を記入して下さい。

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

工事前の写真 東 面

工事前の写真 西 面

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

東西南北面を記入して下さい。

「断熱性・気密性に係る塗装工事」 工事する各塗装面の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。

完了報告書提出には断熱・遮熱塗装の施工中については、ローラー塗装中や吹付中の施工中写真の添付が必要になります。

また、足場設置工事を伴う場合は、足場の施工中・工事後の写真なども必要となります。ご注意下さい。)

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

工事前の写真 南 面

工事前の写真 北 面

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

東西南北面を記入して下さい。

「断熱性・気密性に係る塗装工事」 工事する各塗装面の写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。

完了報告書提出には断熱・遮熱塗装の施工中については、ローラー塗装中や吹付中の施工中写真の添付が必要になります。

また、足場設置工事を伴う場合は、足場の施工中・工事後の写真なども必要となります。ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(15)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (防犯性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号		枚目/総枚数		枚
------	--	------	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所	<input type="checkbox"/> 空家	施工箇所を記入して下さい。
右欄のいずれかの施工箇所に ついて、 <input checked="" type="checkbox"/> チェックをしてください。	<input type="checkbox"/> 共用部	

工事前の部分写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)	

工事前の部分写真

現像またはプリントアウトしたものを

「防犯性の向上に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真	撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。
(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)	

工事前の全体写真

現像またはプリントアウトしたものを

「防犯性の向上に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(16)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (照明や給湯器等の設備の高効率化工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 空家 共用部
右欄のいずれかの施工箇所に
ついて、チェックをしてください。 施工箇所を記入してください。

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「設備の高効率化に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「設備の高効率化に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(17)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (その他居住支援協議会が認める工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号

箇所番号

枚目/総枚数

枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

独自の工事内容

施工箇所

右欄のいずれかの施工箇所について、チェックをしてください。

空家

共用部

施工箇所を記入してください。

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「協議会が認める工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「協議会が認める工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室で記入)

【交付様式：4-4(18)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸についてはシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (子育て支援施設整備のための改修工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

施設名 箇所番号 枚目/総枚数 枚

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

工事内容	施工箇所を記入して下さい。
------	---------------

工事前の部分写真 **撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。**
(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「子育て支援施設整備のための改修工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真 **撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。**
(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「子育て支援施設整備のための改修工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室が記入)

【交付様式：4-5】

対象建物1棟毎に1枚のシートを作成して下さい。

確認書 (建築士による事業要件への適合確認)

当該申請について、事業内容を確認し、平成28年度住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業交付申請要領に定める下記の事業要件に適合することを証明します。

なお、補助金額の確定の際及び補助金の支払い後の現場検査等の結果、故意又は悪意による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることを十分に理解した上で、証明したものであることを確認します。

対象建物	名称・棟番号	〇〇マンション
	部屋番号	101,102,201,202
	施設名	キッズスペース

※1 対象住戸が複数ある場合は部屋番号を列記して下さい。また、賃貸住宅以外の用途の場合は、改修後の部屋番号(旧用途)「101(旧:事務所)」のように記入して下さい。

※2 対象施設名を記入して下さい。施設が複数ある場合は施設名を列記して下さい。

平成 〇〇 年 〇△ 月 〇△ 日

(一級・二級・木造) 建築士登録番号: 大臣登録 第〇〇〇〇〇〇号

印鑑証明書
と同じ印鑑
を押して下さい

建築士の氏名: 建築 正

対象建物を設計・工事監理することができる建築士による確認が必要です。

建築士の連絡先: 090-123-4567

建築士事務所名: △△建築設計事務所

知事登録: 〇〇知事登録〇〇〇〇 号

「建築士の免許証の写し」及び建築士個人印の「印鑑証明書」を添付して下さい。

所在地: 東京都中央区日本橋〇-〇-〇

連絡先: 03-4567-1234

※3 印鑑証明と同一の印を押印して下さい。

※4 日中連絡がとれる電話番号を必ず記入して下さい。

下表の項目について該当することを確認し☑を記入して下さい。☑欄が複数ある項目はいずれかに該当することを確認し、該当するものに☑チェックを記入して下さい。

1) 人が居住していないことの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の対象となる改修工事を実施する住戸については、全て人が居住していない。 (確認日 平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日)
2) 床面積要件の確認	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の対象となる改修工事を実施する住戸の床面積が、全て25㎡以上である。 (改修後に25㎡以上となる場合を含む。) <input type="checkbox"/> 本事業の対象となる改修工事を実施する住戸について、床面積が25㎡未満の住戸があるが、当該住戸は全て以下のいずれかに該当する。(改修後に以下の面積以上となる場合を含む。) a)居間、食堂、台所その他の住宅の部分について、入居者が共同して利用するために十分な面積を有する場合で、かつ、18㎡以上である。 b)地域における多様な需要に応じた公的賃貸住宅の整備等に関する特別措置法(平成17年法律第79号)第6条第1項に規定する地域住宅計画において別の面積が定められており、当該住戸の床面積は当該面積以上である。
3) 設備要件の確認	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の対象となる改修工事を実施する住戸の全てが台所、水洗便所、収納設備、洗面設備及び浴室(以下「台所等」という。)を有するものである。 (改修後に台所等を備える場合を含む。) <input type="checkbox"/> 本事業の対象となる改修工事を実施する住戸について、台所等がない住戸があるが、共用部分に共同して利用するため適切な台所等を備えることにより、各戸に備える場合と同等以上の居住環境が確保されている。(改修後に台所等を備える場合を含む。)
4) バリアフリー性要件の確認	対象住戸において、2箇所以上の手すり設置、屋内の段差解消、車いすで通行可能な廊下幅の、いずれかのバリアフリー性の対応が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> (改修後にいずれかのバリアフリー対応がなされる場合を含む。)
5) 子育て支援施設の要件の確認	<input checked="" type="checkbox"/> 施設において、補助対象となる適正な対応が行われている。

※当該建築物を設計・工事監理することができる建築士が適合性を証明できます。

※建築確認申請・確認済証等の手続きが行われていることをご確認ください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

対象建物1棟毎に1枚のシートを作成して下さい。

耐震性能証明書

建物名称： ○○マンション

所在地： 東京都豊島区

規模： 地下 0 階、地上 2 階、塔屋 0 階

構造種別： (木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造)

※該当する構造種別を囲んでください。

上記建物の耐震性能については、「建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号、改正平成17年法律第120号）」及び同法第4条の規定に基づく「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的方針（平成18年国土交通省告示第184号）」の「（別添）建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項」に照らし、所要の耐震性能を有していることを証明いたします。

なお、補助金額の確定の際及び補助金の支払い後の現場検査等の結果、故意又は悪意による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることを十分に理解した上で、証明したことを確認します。

記

平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

(一級・二級・木造) 建築士登録番号： 大臣登録 第○○○○○号

建築士の氏名： 建築 正

建築士の連絡先： 090-123-4567

建築士事務所名： △△建築設計事務所

知事登録： ○○知事登録○○○○号

所在地： 東京都中央区日本橋○-○-○

連絡先： 03-4567-1234

印鑑証明書
と同じ印鑑を
押して下さい。

印

※1

※2

※3

対象建物を設計・工事監理することができる建築士による確認が必要です。

「建築士の免許証の写し」及び建築士個人印の「印鑑証明書の写し」を添付して下さい。

※当該建築物を設計することができる資格を有する者が証明すること

※1 印鑑証明と同一の印を押印して下さい。

※2 携帯電話等、日中連絡がとれる電話番号を必ず記入して下さい。

※3 建築士事務所登録証明書等の写しを必ず添付して下さい。